



肝炎を知ろう！！

西日本では肝がん死亡率が多いです。

特に佐賀県は肝がん死亡率ワースト1が10年以上続いております。

これまで様々な取り組みを試みて来ましたが、なかなか改善されません。

当院の健康診断でも、肝炎検査は色々な方に実施して頂いておりますが、せっかく肝炎とわかって治療に結びついていないのが現状です。

そこで、今回は肝炎の正しい知識を知っていただくと思い、このテーマにさせていただきました。

肝炎で亡くなる人のほとんどは**ウイルス性肝炎** (B型肝炎、C型肝炎) が原因です。

肝炎検査は簡単な**血液検査**で受けることができます。

肝炎ウイルス検査には、以下のものがあります。

検査の種類	実施者	問い合わせ先
無料肝炎ウイルス検査 (保健福祉事務所又は委託医療機関) ※当院も委託医療機関です。	各県	各県健康福祉本部 健康増進課 または保健福祉事務所
市町の肝炎ウイルス検診 (場所・対象年齢・自己負担額は市町で異なります)	市町などの自治体	お住まいの市町の担当窓口
職場の生活習慣病予防健診 (お勤め先によって受けられない場合があります)	加入している医療保険の保険者	お勤め先 (厚生担当部門)

●肝臓の働き

- ★栄養分を作ったり、蓄えたり、成分を変える
- ★薬やアルコールの成分を変えたり(代謝)、毒物を解毒する
- ★出血を止めるための血液のタンパク質をつくる
- ★消化に関わる胆汁をつくって胆管へ分泌する
- ★ウイルスや細菌などから体を守る

●「肝炎」

ほとんどがB型、C型などの肝炎ウイルスが原因です。そのほか免疫の変調による自己免疫性肝疾患、脂肪肝が進行して起こる非アルコール性脂肪肝炎(NASH)などの栄養の異常によっても肝炎が起こります。

●「沈黙の臓器」

肝臓は体を維持する為に24時間絶え間なく働き続けています。働きがおかしくなってもギリギリまで症状が現れないので「沈黙の臓器」と呼ばれます。

●「肝硬変」

何らかの原因で肝臓が壊されると(肝炎)肝機能検査値が高値になります。しかし、その状態が長期化し、肝臓が硬くなった肝硬変では、肝機能検査値が上昇しないこともあります。



肝炎陽性だったら・・・

いくつかの注意点を守っていれば他人に感染することはありません。B型、C型肝炎は、ウイルスを含んだ血液や体液が体内に入ることによって感染します。日常的な接触で周囲に感染することはほとんどありません。

☆カミソリ、歯ブラシなど血液が付着する可能性のある日用品の共用はしない

☆血液や分泌物がついたものはしっかりくるんで捨てたり、流水でよく洗う

☆献血はしない など

♪握手 ♪くしゃみ ♪入浴

♪キス ♪同じ食器での食事

♪ハエ、蚊 など

食事や生活での注意点

- 1 お酒は**原則禁止**
- 2 ストレスをためずに、**十分な睡眠時間**をとる
- 3 **食品添加物の摂取は肝臓に負担**かかるのでなるべく**摂らない**

肝炎の治療について

肝炎の治療については、**自己負担額が軽減**され、市町村民税課税の合算額により**月額1万円**または**2万円**までになりました。**申請手続きは、各保健福祉事務所**となります。

B型肝炎編

B型肝炎陽性の方の中には肝機能の異常や症状もない「**無症候性キャリア**」と呼ばれる人がいますが、**B型肝炎は、ウイルスが完全にいなくなることはありません**ので、知らないうちに肝硬変や肝癌を発症することがあります。必ず定期検査は受けて下さい。また、肝炎を発症すると一時的にウイルス量が増加した後免疫の働きでウイルス量が大幅に減少します。**セロコンバージョン**と言われる状態になり、以前は治療したとみなされてきました。ところが、**セロコンバージョン後も肝炎、肝硬変、肝癌に進むことが明らかになり油断は禁物**です。

C型肝炎編

C型肝炎は、ゆっくりと進行します。血液を介して感染し、B型肝炎よりも感染力は弱く、**性交渉や体液で感染することはほとんどありません**。C型肝炎陽性者の方は、肝硬変への進行を防ぐためにも定期検査は必ず受けましょう。**C型肝炎は早期に治療を開始すれば完治する確率が高くなります**。

<肝疾患相談窓口>

県内の各医療機関や保険福祉事務所には「肝炎コーディネーター」の資格を持った方がいます。また、佐賀県には**肝臓相談センター**も設けられていますので、気軽にご相談されて下さい。



肝炎陽性なら医療機関に行かんばい肝!